

令和3年度 第2回下野市地域公共交通会議 会議録

	令和4年1月20日（木） 午前9時30分～午前10時20分
開催場所	下野市役所2階 203会議室
出席者	長田委員（会長）、神谷委員、山本委員、山中委員（副会長）、渡邊委員、山川委員、長谷川委員、金清委員、上野委員、小島委員、中山氏（塩田委員代理）、荒川委員、岩崎氏（荒川委員随行）、小矢島委員、鉢村委員
欠席委員	山田委員、原委員、谷委員、嶋田委員、保坂委員、川中子委員、水元委員
傍聴者	なし

次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議題
  - (1) デマンド交通「おでかけ号」利用者アンケート結果について
  - (2) 1市2町デマンド交通相互利用乗継スポットの新設について
  - (3) 地域公共交通確保維持改善事業評価について
  - (4) その他
    - ・下野市公共交通緊急対策支援事業費補助金の支援拡充について
    - ・1市2町広域連携「ゆうがおバス」実証運行の終了について
4. 閉会

○開会

○会長あいさつ

オミクロン株が全国的に猛威を振るっているため会議は効率的に行いたい。今日は採決事項として、「1市2町デマンド交通相互利用乗継スポットの新設」、そして重要な、「地域公共交通確保維持改善事業評価」があるので、委員の皆様には慎重審議をお願いしたい。

資料確認

(長田会長) 議事録署名人選任  
名簿No.4番 山本委員、名簿No.14番 小島委員

なお、下野市地域公共交通会議条例第6条第2項の規定に基づき、出席者14名で会議成立。

また、下野市審議会等の設置運営要綱の規定に基づき、議事録は発言した委員名も含め、ホームページで公開する。

議題1【デマンド交通「おでかけ号」利用者アンケート結果について】  
事務局より説明をお願いします。

(事務局) デマンド交通「おでかけ号」利用者アンケート結果について説明(資料1-1、資料1-2)。

(長田会長) 事務局から説明があったデマンド交通おでかけ号の利用状況報告について、委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。

(長谷川委員) アンケート回答者の居住地が石橋地区55.9%と高く、南河内と国分寺地区がそれぞれ石橋地区の半分と低いのは、石橋地区は周知が徹底され、その他の地区は周知があまり行われていないのか、それぞれの地区での周知の問題の差によるものか。

また、改善して欲しい点として、「シルバーカー・車椅子の持ち込み」要望が37人と非常に多いので、来年に向けて対応できるものは是非対応していただきたい。

(事務局) 石橋地区の利用登録者数が他地区よりやや多いことと、運行車両台数を、最大で石橋地区3台、国分寺・南河内地区2台で回しており、アンケートを運転手から利用者に手渡しで配布してもらったことから、石橋地区の回答率が高かったと推測される。

要望の多いシルバーカー積載については、4月を目標に、運行を委託している石橋タクシーと調整し、順次対応していきたい。

(長田会長) アンケート分析については、引き続き細かくみていくか。この資料は単純集計と呼ばれるもので、次の段階として、地区ごと、年齢ごとの分析をやっていくという認識でよいか。

(事務局) お見込みのとおり。

(長田会長) クロス集計をかけていくと、傾向等いろいろ見えてくるので、今回のアンケートの単純集計は参考程度ということ。

(長田会長) 議題2【1市2町デマンド交通相互利用乗継スポットの新設について(採決事項)】事務局より説明をお願いします。

(事務局) 1市2町デマンド交通相互利用乗継スポットの新設について説明(資料2-1、資料2-2)。

(長田会長) 事務局から説明があった1市2町デマンド交通相互利用乗継スポットの新設について、委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。

意見なし

(長田会長) それでは、採決事項ということで、採決を行う。

～挙手全員～

(長田会長) 認められたということで採択された。

(長田会長) 議題3【地域公共交通確保維持改善事業評価について(協議事項)】事務局より説明をお願いします。

(事務局) 地域公共交通確保維持改善事業評価について説明(資料3)。

(長田会長) 事務局から説明があった地域公共交通確保維持改善事業評価について、委員の皆様からご質問やご意見等はあるか。

(長谷川委員) 目標・効果達成状況がCだと、国からマイナスにされるなどペナルティーがあるか。そういうことがあるようなら目標を変えるべき。

(事務局) ペナルティーはない。目標値については、昨年度までの前計画に基づく乗継時ダブルカウント積算による数値で、乗継が無い今の運行形態とはそぐわないことから、今後目標値についても見直しを図っていく。

(金清委員) 「のりもの・のりかたガイドブック」は小学校で配っているものか。

(事務局) お見込みのとおり。県で作成している。以前は2年生のみを対象にしていたが、今は全学年を対象に拡大されている。

- (山川委員) 利用状況の運行経費の額について、委託費は委託費、燃料費は燃料費で払っているのか、それとも車検等も含めて委託費に入っているのか。
- (事務局) 車検等も含めて運行委託費の中でお願いしている。
- (長田会長) 「令和3年10月から令和3年3月」となっている記載があるので令和4年3月に修正願う。
- (長田会長) 他に意見はないか。
- (長田会長) 意見・質問もないようなので、微修正しこの内容で国に提出させていただく。
- (長田会長) その他【下野市公共交通緊急対策支援事業費補助金の支援拡充について】、事務局より説明をお願いします。
- (事務局) 下野市公共交通緊急対策支援事業費補助金の支援拡充について説明(資料4)。
- (小矢島委員) こういった仕組みを作っていただいたことに感謝する。バス業界の現状について、コロナ3年目に入るが、乗合バスについては輸送人員がコロナ前と比べ、1年目が5割～6割、今は7割程度。政府による人流抑制・外出自粛が叫ばれ、以前から路線バス事業は黒字経営ではなかったところにこのような状況で事業経営は更に厳しくなり、路線の維持が困難な状況になりつつある。地方創生臨時交付金を活用した感染防止対策の今回の補助は有り難いが、令和2年度と比較し軽油が40円程度値上がりするなど、経費の約1割を占める燃料費が高騰していることから、燃料費の補助についても使い勝手の良い臨時交付金を活用するなどし、令和4年度は事業者が事業を継続できるような支援をお願いしたい。
- (鉢村委員) 補助制度については助かっている。引き続きお願いしたい。管内の事業者にも有効活用するよう周知する。タクシー業界の現状だが、営業収入が昨年に引き続き今年も年間4割減であり、これではタクシー事業として成り立っていない。100社ほどあるタクシー会社のうち6社が既に廃業し、今後廃業しそうなところも見える。そのため、このような

補助金というよりも、事業者に直接支援する支援金が無いと経営難に陥っていく。県からは支援を受けているところであるが、地方創生臨時交付金を活用し、市町からも支援いただきたい。タクシー事業者がいなくなると最終的に市民が困るので、事業の継続に力を借りたい。燃料だが、LPガスも値上がりしている。軽油については、国が軽油会社に助成することで一定額を上限に値が上がらない仕組みがあるが、LPガスにはそれがいないため、この辺もタクシー事業者にとって厳しいということを付け加えさせていただく。

- (長田会長) 事務局で検討願う。  
なお、1度空気清浄器の助成を受けた後、グレードの高い空気清浄器を導入した場合、再度助成は受けられるか。
- (事務局) 1回限りとなる。
- (長田会長) その他【1市2町広域連携「ゆうがおバス」実証運行の終了について】、事務局より説明をお願いします。
- (事務局) 1市2町広域連携「ゆうがおバス」実証運行の終了について説明（資料5）。
- (中山氏) 来期運行方針で、獨協医大往復線について、平日9往復ダイヤに変更なしと記載があるが、壬生町から一部ダイヤ変更申出がされ、変更を予定している。
- (事務局) より通勤に利用しやすいようダイヤ変更申出がされ、平日9時近い石橋駅発の第2便について、8時10分あたりまで早める調整を始めた。
- (長田会長) 終了のアナウンスはいつから始めるのか。
- (事務局) 廃線については新聞で報道もされたが、広報1月号に掲載している。そのほかホームページなどで周知していく。
- (長田会長) その他、委員の皆様からないか。
- (金清委員) デマンド交通の要望が入っているのでお伝えする。

アンケート結果と重なるところはあるが、市のイベントがある時は休日も運行してほしい。また、アンケートに朝7時から運行してほしいとあるが、障がいのある方が運転できない・運転しないという状況の中で、通勤に使えるよう朝早くから運行していただきたい。障がい者の就労支援という意味も含め、通勤に使えるデマンド交通というものを考えていただきたい。

(長田会長) その他、事務局から連絡すべきことはあるか。

(事務局) 次の会議は、3月28日(月)午前10時の実施を予定している。

以上で本日の会議は終了とする。

閉会